



情報化時代

と

広報紙

最近「情報化時代」という言葉がはやらんしています。ラジオ、テレビ、そして電話が家ごとに普及している時代が生まれました。言葉でしよう。耳から目からと、からだ全体で情報をキャッチしているこのごろですが、この中で町の広報紙の役割というものを考えてみましょう。

情報化時代 トランシーバー、ないしょばなし、新聞、広報紙とあらゆるところで情報が流れています

広報紙と三要素

よい広報活動がおこなわれるには、それなりの条件が整っていないければなりません。

- ①住民のために、よい行政がおこなわれていること
- ②理解と関心が高いこと
- ③担当者の力があること

この三要素がそろわないと、すばらしい広報活動はできてきません。

創刊は昭和三十年

玉造町が広報紙を創刊したのは昭和三十年六月二十五日。今から十六年も前のことです。古びた創刊以来の広報紙綴りが、いま、係のロッカーに大切に保存されています。

そまつな紙に、びっくり組みこまれた活字、タブロイド（現在の大きさ）のペラから、雑誌型へ、そしてまた現在のタブロイド四ページへその中には十六年の才月が息づいています。

県広報コンクール入選一回の栄誉を頂点に、その時、その時の努力があります。

この歴史の中から、これの一つの踏み台として少しでも伸びよう少しでもいい紙面づくりを取り組んでいます。

県の広報

コンクールで入選

このほど、茨城県広報コンクールで、玉造町の広報紙が入選しました。

このコンクールは、県下九十二市町村の広報紙と広報写真、有線放送を対象にして、よりよい広報をしているかどうかを審査するものです。

町では、このうち、広報紙と広報写真の部に出品し、広報写真が入選、広報紙が佳作という好成績をおさめました。

参考までに入選した広報紙をお知らせしますと、第百二十八号（十二月号）で「とる漁業から育てる漁業へ」という紙です。

この場合も大きな写真を取り扱い「見せる」ものでした。

「まちのしんぶん」

として

このように、「見せる」ものであると同時に、町政とみなさんの間のパイプでもなければなりません。

国会のニュースはテレビや新聞で毎日流れて来ます。県の出来ことも新聞の茨城版で知ることが可能です。

しかし、日常生活に結びついた町政の動きは、毎日流れません。月一回の紙面に頼るほかありません。

このためにも、読んでもらえる紙面づくりに努力しています。

発行回数、ページ数、速報性とも足りないところも多いことと思いますが「まちのしんぶん」としていつまでもかわいがってください。



型町政スタート
予算総額七億二千万

ゴミ処理場の建設・消防自動車購入・交通対策

—生活の安全確保—

生活が都市化し、経済成長はげしくなると、一面において人間疎外・精神的貧困、社会連帯意識の喪失など精神面での悪い面が現われ、この結果、各種の公害、交通事故、自然破壊などの新らしい社会課題が生まれてきています。

この中で工場排水などの公害は県や国の監視体制にゆだねることになりますが、霞ヶ浦の水質の汚濁について、沿岸住民のゴミやし尿の不法なげすみによる原因が多いため沿岸の水質検査を引き続き

町民プールの建設

—健康と福祉—

住みよい社会の開発は、充分な福祉対策と健康な町民の育成をモットーとしていますが、福祉対策では、国や県の制度や施設が年々充実していますので、これを積極

昭和46年度

重点事業のあらまし

- ◇ 昭和四十六年度予算は、さる三月十三日…
- ◇ 第一回定例会で可決され、七億二千…
- ◇ 百十萬決まりました。これは、前年度の…
- ◇ 当初予算より千七百三十萬の増となりま…
- ◇ …した。以下、ことしの予算に盛り込まれた主…
- ◇ …な施策についてお知らせします。

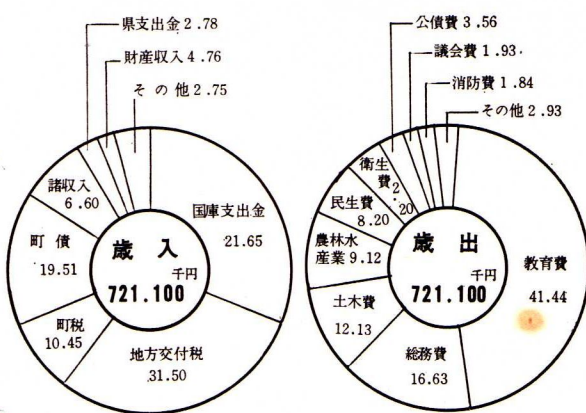
土地改良、農協合併を促進

—産業振興—

まず、産業の振興のための予算ですが、これには七千三百六十五萬円で、昨年より千二百六萬円増になりました。

農業面では、昨年からの引き続き米作減反が、いっそうきびしく要求され、あわせて価格の据置きなど、農業所得の伸び率が大きく期待することができないので、良質米の生産、有利な作目への転換などを強力に指導して農家所得の減退を極力防止すること、浜地区のほ場整備事業をはじめ、土地改良事業を促進し、水田の基盤整備事業を進め、稲作からの転換をたや

歳入歳出とそれぞれの各款の占める比率



すくすること、農道を整備して、耕作、運搬の近代化に適合させること、田園都市建設をすすめること、新しい時代の農村の核となる自立農家を引き続き育成すること、

浜小、玉造幼稚園を建設 中央公民館も発足

—人づくり—

人づくりの面では、浜小学校の防音改修工事、玉造幼稚園の防音改修工事、玉造幼稚園の防音改修工事、玉造幼稚園の防音改修工事など、学校の建設とともに中央公民館の内装工事を予算化しています。

教育費は全予算の四一・四割を占める二億九千八百八十萬円を計上しておりますが、これは次代を担う子弟教育について、各家庭の親たちが、いかに熱心であるかをのぞかれています。

国保は総額一億二千万

—特別会計—

特別会計の国民健康保険会計は年々ふえてゆく保険税の増加で、ことしも「頭が重い」年になりそうです。

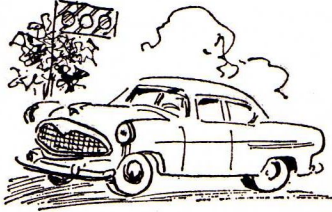
ことしの国保税は一人当たり四千六百九十六円の負担をみこみ、総額一億二千三百七十七万七千円と見られています。

ことしは生活を向上させる町政

—生活の安全確保—

昭和四十六年度は「生活を楽しく町政」を目標に、各種の施策が着々とすすめられていますが、めまぐるしく変動する社会情勢の中で、生活環境をつくり、町民のみならず、自由に、十二分に活用できる公共施設をと、工事がつつまげられています。

みなさんが、住んでいて本当に良かったと思える生きがいのあるまちを建設することが、地方自治体の最大の目的です。



考え方と方法 (4) 全転 安運

ハンドルをとられないようにしっかりと握る習慣が、安全のために必要です。

ハンドルは、時計の十時十分の長短針の位置で握るのが基本です。

そして大切なことは、握るとき指や掌の腹をハンドルの握りにあててしっかりと握る、いわゆるスポーツグリップで、これは野球のバット、テニスのラケット、ゴルフの腕や肩の力は抜いてもグリップはいつもしっかりと力がこもっていることが大切です。野球、テニス、ゴルフ等すべて肩、腕はやわらかく、グリップはしっかりと握るのと同じです。

これならば、パンクなどによってハンドルに不意に大きなショックがきても、手をはじかれることなく、グッと応えることができます。

春の交通安全運動 はじまる

前期…4月5日—4月10日まで
後期…4月26日—5月1日まで

春の全国交通安全運動がはじまりました。
ことしの運動は、前後二期にわけ、前期が四月五日から十日まで、後期が四月二十六日から五月一日まで行なわれます。
ことしの標語は
○ヒヤッとしたあの瞬間を志れるな
○まだ渡るはまだ危い
○あぶない、あぶない、ひょっこりとびだし、うっかりおうだんです。

この春で46回目

耳にタコが出来るほどさけられていた「交通安全」です。
しかし、事故はふえるばかりです。
交通安全が国民総ぐるみ運動として行なわれたのが昭和二十三年の秋です。
以来、毎年、春秋二回実施して今回の春の運動は、第四十六回目の運動にあたり、年数にして二十



急ピッチで進む公民館建設工事

々待望の中央公民館は二月に着工してから早くも二か月が経過しました。
工事は、日立市、山形工務店が請負い順調にすすんでいます。現在、基礎となる部分の地味な工事が続いています。町民待望の中央公民館も、だんだんとその形を整えてくることでしょう。
写真は三月末日

農業者年金がいよいよスタートしました。

昨年十月、中央に農業者年金基金が設立され、ことしの一月から加入申込みと保険料徴収などの本格的な業務が開始されましたが、この農業者年金は他産業に働く人にくらべて社会保障制度が整っていないことから、国民年金にうわのせした特別の制度をつくって農業者の老後の生活を守ります。

農業者年金スタート

老後保障と農業近代化へ

また、後継者への経営ゆづりわたしをすすめて、経営の若返りをはかるというねらいをもつなど、社会保障と農業近代化の二本柱の役割りを果そうとするものです。
つきに、農業者年金の内容についてあげますと

△当然加入：大正五年一月一日以降に生まれた人で、経営面積が五十アール以上で、農家の経営主であり、国民年金に加入している人
▽任意加入：三十アール以上の経営主で集約栽培をしている人や当然加入対象者の後継者などです。
さらに六十五才になると、これに

保険料はいくらか
加入者が納める保険料は月七百五十円です。これは農業者年金だけですから国民年金定額分、所得比例分(三百五十円)、妻の国民年金定額分を合計すると一世帯で

国民年金が加わります。
例えば、加入期間が五年の場合、国民年金定額給付を合わせると月額八千七百円が支給されることとなりますが、個々のケースによってちがってきます。

制度発足当初に五十五才以上の人はこの制度に加入できません。

そこで五十五才以上の人で農地を他人の経営規模拡大に役立ように手離した人に一時金として支給されます。

たとえば、五十五才以上で五十アール以上売渡した場合は三十五万円。その他で三十アール以上売渡した場合は十五万円です。



うまい
米づくりへ

三年を費しました。
「また安全運動か」と言う前に注意をはらいましょう。
聞きあきても、言いあきても、事故があるかぎり安全運動はつづけなければなりません。

今回の運動の特徴と重点

今年の運動は、昨年春の運動の結果を参考に進めます。
昨年は新学期を中心に運動をすすめて、事故減少が実現しましたが、かつての事故のピークが五月に移ってしまつたため、四月、五月に分けて運動をひろげることになりました。

おじいちゃん、がんばって…

町民マラソン大会

「二歳ぐらい平チャラですよ」三月二十八日に行なわれた町民マラソン大会で一般の部に参加した清水百太郎さん(才)は、元気に話しました。



この日は体育協会主催の町民マラソン大会と駅伝競争が行なわれ、中学生、高校生、一般の人と多数が参加しました。
中でも、この日の主役は一般の部四十才以上で参加した清水さんで、見物にきた近所の子どもたちから「おじいちゃんがんばって」と声援をひとりじめにっていました。
清水さんゴールイン

四月も半ばになり農繁期がやってきました。
忙しさと米の減反で農家の人は頭痛はちまき。
苗代づくりも進み、五月の田植準備がはかどっているようです。
今年は、米の生産調整がさらにきびしくなり、昨年の二・三倍の目標数量が、国から県へ示されました。
さらにことしは米の政府買入限度数量がきめられ、そのために、政府先渡以外の米の処理を真剣に考えなければなりません。
それは、商品価値の高い良質米の生産をすることが必要です。
さきに、県の奨励品種としてコシヒカリ、トドロキワセ、日本晴などがあげられましたが、農家でも、これらの種子をまいている人が多いようです。
写真は三月末日

【人事異動】

(一)内は旧職

- ▽総務課 奥村水男(衛生係長)
- ▽総務課 見川君代(町民室)
- ▽総務課 木村久子(議事事務局)
- ▽総務課 大和田よし江(総務課)
- ▽企画課 小松崎ミヨ子(総務課)
- ▽企画課 坂本正(新採)
- ▽税務課 福田義(町民室長)
- ▽税務課 栗又正美(企画課)
- ▽建設課 松金将行(新採)
- ▽建設課 代々城一成(新採)
- ▽産業課 小沼徳雄(税務課)
- ▽産業課 田沢孝雄(新採)
- ▽町民室 笠原秀司(税務課長)
- ▽町民室 松尾登志子(企画課)
- ▽町民室 小林征洋(建設課)
- ▽町民室 小松崎忠良(産業課)
- ▽町民室 菅谷勝一(建設課)
- ▽町民室 野島清司(防災係長)
- ▽町民室 鈴木民弥(税務課)
- ▽町民室 田辺位男(保険衛生課)
- ▽町民室 若泉亨(町民室)
- ▽町民室 西谷正明(新採)
- ▽町民室 河内一子(新採)
- ▽議会事務局 出沼ふち子(教育委員会)
- ▽議会事務局 高柳多美子(新採)
- ▽玉川幼稚園 根本あき子(新採)

ハイ!ゆうびん

小包利用のいろいろ

三月四月は小包郵便が多くなる季節です。
一般の取扱いはほかに、つぎのような制度があります。
▽書籍小包
小包郵便物の料金は送る距離によって、地域ごとに、それぞれ料金が異なっておりますが、書籍または雑誌を一部だけ送る場合は、「書籍小包」として差し出されることがあります。
料金は一一般の小包よりも安く、全国均一料金で送ることができからです。
これは書籍、雑誌の購読に便利な制度として四十一年四月から始められました。
料金は
重量二百五十グラムまで…五十円
五百グラムまで…七十円
一キログラムまで…九十円
一・五キログラムまで…百二十円
二キログラムまで…百四十円
二キログラム以上…百六十円
となっており、表面に「書籍小包」と表示し、開封して差し出したいたがたいとのことです。
▽航空小包
小包郵便物は、通常郵便物にくらべて、先方に到着するまで運送に日数がかかりませんが、札幌、東京、大阪、福岡の相互間は、航空機により急送する「航空小包」の制度があります。
料金は地帯別の基本料金のほかに速達料、航空運送料が必要で、急を要する品物や、日数が経つと品物の価値が変わるものの運送に利用されると便利です。
「航空小包」を差し出されるときは、空港への運送しめきり時間等を、あらかじめ郵便局におたづねくださいとのことです。

